取扱説明書

微生物プリザ
（一般細菌用・酵母用）

大腸菌や酵母などの微生物株を小スペースにサンプル保存できます。

品　　名	微生物プリザ（一般細菌用・酵母用）96 ウェル
カタログ No.	176-531S、176-551S
プレート寸法	80 ㎜ ×115 ㎜ ×1 ㎜
サンプル保存数	96 箇所 /1 プレート
サンプル保存温度	25℃以下（長期保存は冷凍推奨）
製 造 年 月 日	袋に記載

※ご使用前に、本書を必ずお読みになり、本書は大切に保管してください。
※この製品は国立大学法人徳島大学の特許を応用したものです。本件に関する徳島大学の連絡先は下記のとおりです。
〒770-8506　徳島県徳島市南常三島町2-1　国立大学法人徳島大学　知的財産本部
TEL 088-656-9817

発売元：ワトソン株式会社
東日本営業所
〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町3-37-22
TEL：03-5823-8608 FAX：03-5823-8609
西日本営業所
〒651-2241 神戸市西区室谷2-2-7
TEL: 078-991-4489 FAX: 078-991-4491
E-mail：tcr@watson.co.jp
製造元：深江化成株式会社

http://www.watson.co.jp　watson　検索

ご使用上の注意

- **弊社社内検証では、好気状態での検証のみ行っております。嫌気性細菌の保存を望まれる方はあらかじめプレテストを行ってからお使いください。**
- **目安の乾燥時間はそれぞれ次の通りです。**
（気温23℃、湿度50%の条件時の目安）

[96ウェル] 60分以上
[1ウェル/3ウェル/24ウェル] 90分以上

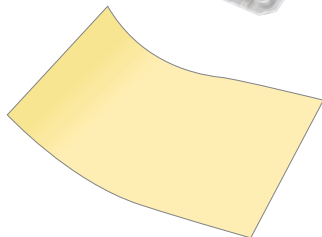
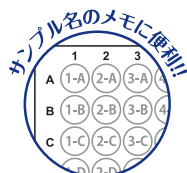
- **特定病原体の取扱いは、国内外における関係法令を遵守して適切にお取扱い下さい。**

- 研究目的以外で使用しないでください。
- 手袋とマスクを着用して作業を行ってください。
- ディスポーザブル製品です。再利用をしないでください。
- オートクレーブ滅菌をしないでください。
- 開封後は高温多湿な環境を避けて保管してください。
- サンプル保存には光、埃、多湿な環境を避けてください。
- 保存期間はサンプルの純度や保管状態により変動します。
- 保存期間を把握したい場合は、半減期テストを実施ください。

［半減期：t（1/2）=ln2/｛ln（100）-ln（1ヵ月後の残存率）｝］

微生物プリザ セット内容

■微生物プリザ96ウェル・・・5枚

■保護シール・・・5枚

■取扱説明書（本紙）・・・1枚

96ウェルプレート アドレスシート　※ご自由にダウンロードしてお使いください。

A4版 http://www.watson.co.jp/pdf/96AddressSheet_A4.pdf
B5版 http://www.watson.co.jp/pdf/96AddressSheet_B5.pdf

微生物プリザ Q&A

Q. 保存期間と保存温度の関係とは？

A. 半年以上保存される際は、保存温度を低くしてください。
短期間であれば、常温でも保存可能なものもあります。
弊社検証データ（http://www.watson.co.jp/pdf/livingsituation.pdf/）をご参考に保存ください。

Q. 使用期限はありますか？

A. 製造年月日より1年以内で使用を開始してください。

Q. 未使用製品の保管方法は？

A. 袋を開封したまま未使用で保管しないでください。
袋を開封すると滅菌の効果が失われます。
必ず使用直前に、クリーンベンチあるいは安全キャビネット内で開封してください。

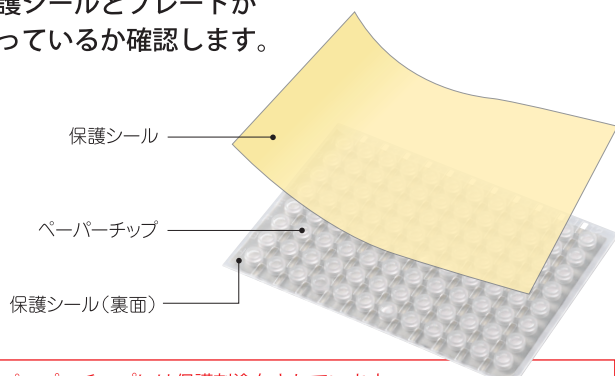
Q. −20℃での保存ではなく、−80℃で保存した方が良い？

A. −20℃より低温での保存は避けてください。
−20℃より低温で保存するとプレートに貼り付ける保護シールの粘着が機能しなくなる場合があります。

Q. どのような形態で保存すれば良い？

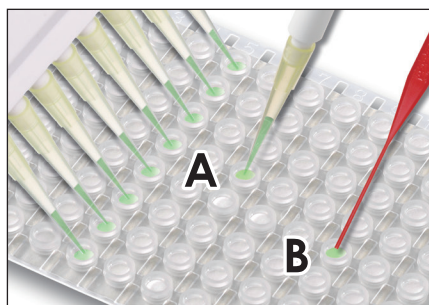
A. プレート同士保護シール面を向かい合わせて重ね、輪ゴムで固定し、チャック袋で保存してください。
重ねることでシールの捲れが防止できます。

サンプルの保存

①保護シールとプレートが
入っているか確認します。

※ペーパーチップには保護剤塗布されています。
塗布斑が着色となって見えることがありますが品質に影響ありません。

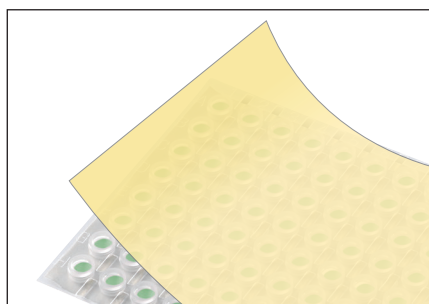
②サンプルをペーパーチップに吸着させます。

A. 液状培地の場合
1ウェルあたり5μlまで分注できます。

B. 寒天培地からピッキングする場合
コロニーなどの微生物塊を寒天培地からピッキングし、
直接ペーパーチップに塗りつけます。

③常温で完全に乾燥させます。

目安として96ウェルタイプに関しては60分以上乾燥させてください。
減圧乾燥することをお勧めします。

※乾燥が不十分な場合、性能を発揮できません。

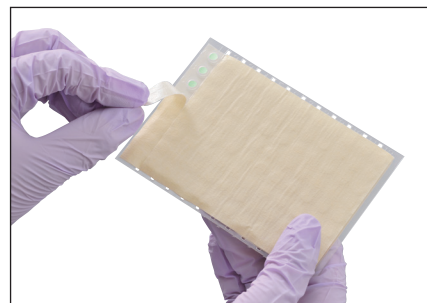
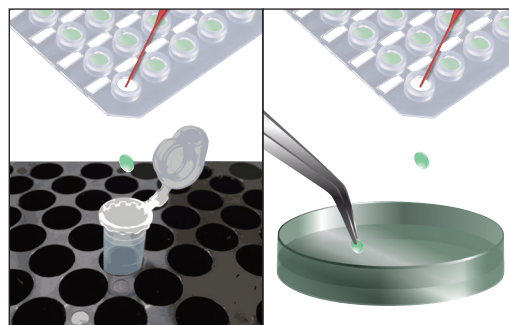
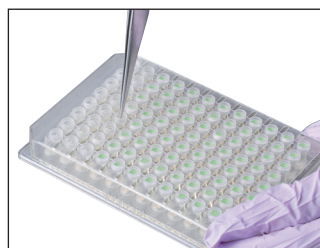
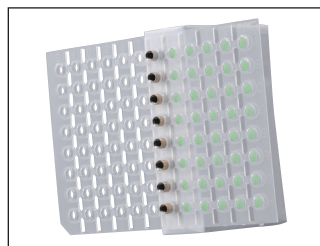
④保護シールを貼り、室温にて保存。

※隙間があるとコンタミの恐れがあります。しっかりと貼り付けて
ください。

⑤長期保存する場合は冷凍します。

冷凍保存する場合は、保護シールの粘着性が落ちるため、プレート2枚を保護シール面同士を内側にして重ね、輪ゴム等で縛ってください。
保存できる期間は試料の種類、純度、環境により異なります。
必要に応じて試料の半減期テストを実施してください。

サンプルの復元

①保護シールを両面とも剥がします。

数列ずつ剥がす場合は、あらかじめカッターやハサミで切り目を入れると簡単に剥がせます。

②ペーパーチップを押し出して、培地に落とします。
寒天培地の場合は、ペーパーチップを擦り付けて
ください。

●各種96穴プレートの規格に合ったサイズなので、
微生物プリザと重ね合わせて使用すると、
簡単にペーパーチップをプレート側に移すことができます。

ピンセット等で簡単に
ペーパーチップを押し出せます。

φ4.5㎜までのピンツールなど
でも押し出し可能です。

保存後の微生物の生存状況一覧
http://www.watson.co.jp/pdf/livingsituation.pdf